

Rep
ort

身近な自然の観察・記録活動 石神井川縁道版

2021.5.13

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日)10:00より(雨天中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail

5月、6月の石神井川観察は、5/28(金)、6/10(木)、6/25(金)
10:00 帝京大学病院北側の御成橋たもと出発

草刈りをしないと街路の下は わくわくスペースになる



このレポートで度々紹介している帝京大学付属病院北側の街路。最寄りの十条駅からの通院バスを通すためと思われるのですが、幅の広い道路が整備されました。もとの街路はそのまま残されて、歩道が2本並んでいます。なぜか、旧歩道の街路は役所による草刈りが行われていません。新しい道路の開通まで道路の整備を調整しているのかもしれませんが。

そんなわけで、約80mの街路の下は野草が生え放題。たくさんの花が咲いていてわくわく気分になります。なにしろ、観察を始めて6年目にして初めて出現した野草があるの

です。写真右の植物です(今日はもう花が枯れていたもので、写真は4/23時点のもの)。

総苞の部分はタンポポとノゲシの中間で、舌状花が紫色の花。キク科には違いがないので図鑑を調べると、いちばんよく似ているのが「センボンヤリ」(別名ムラサキタンポポ)、あるいは「キツネアザミ」でしたが、よく分かりません。いずれにしても、貴重品だと思います。

道路工事では外から土が運び込まれた形跡はないので、縁石を埋め込むために掘り返された土の中に眠っていた種子が息を吹き返したのでしょうか。



わからない草花、続出



←背が高い???
の草。花が咲いて
みればわかるかも
しれません。

→

こちらは、どこ
かで見たとようで、
でも、さっぱりわ
かりません。



4/23 付ではウマノアシガタを紹介した同じ場所↑
5/13 は違う花が咲いていて、これまた???

→

ちゃんと見れば、きれい



JR 社宅敷
地内。ほ
とんど手
入れされ
ていない、
だれも見
向きもし
ない場所

で、「わたしを見てちょうだい」とばかりに咲きそろっているのは、**サツキとトウネズミ**

モチの花。近年街路に植えられるのは花期が長い「サツキツ
ツジ」ですが、これは一昔前のサツキ、トウネズミモチは実生
から育ったのでしょ
うが、改めてちゃんと
見てみれば実にきれい!

もう咲き始めた



↑ **ガクアジサイ**

キンシバイ →

